

ゴ ク ロー サン  
5 9 6 3

# ハート通信

VOL. 43

竹原運輸株式会社

発行日 平成 23 年 9 月 15 日

## ★事務所スタッフからの一言



皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

私たちの会社はサービス業です。この運送業で大事なことは、挨拶がちゃんとできること、荷物を破損させないこと、時間通りに間違わずにお届けすること、など何か特別な作業や創造性やアイデアが必要なことはありません。

当たり前のことを当たり前により続けること。

実はそれが簡単に見えて結構難しいと思います。毎日天候や体調や予定が変わる中で、同じ品質のサービスを提供し続ける。

難しい状況でも、当たり前により続ける会社を一流の会社というのでしょうか。

竹原運輸は一流を目指します。

竹原和行

## ◆事務所スタッフからのハートの一言◆

数年前より、省エネ走行について会社を上げて取組んでおりますが、最近はこれ以上燃費が伸びない現状がありまして、この9月1日より社内省エネ走行コンテストを開催することとしました。目的は社内の連帯感向上・更なる省エネ走行の習慣化・安全走行の実現の3つです。

期間は9月から11月までの3ヶ月。各自の乗務している車両について過去の燃費を平均化し、その数値を目標値として少しでも向上させようというものです。社内掲示板に全乗務員の目標値が表にして張り出されており、ひと目でわかるように工夫してあります。各月の実績を記入できるようにもなっており、各自の月毎の成績が張り出されます。

コンテストですからその数値について全員で優劣を競い合い、成績優秀者には会社より表彰があります。但し、期間中は無事故であることが絶対条件です。又、今回のコンテスト実施要項の中の特徴としまして、社内の部門ごとに競い合う要素が含まれていることです。部門ごとに示された目標値をクリアしないと部門表彰の対象になりません。このことにより部門ごとの連帯感を醸成し、お互いが声を掛け合い、同じ目標に向かって共に努力精励する雰囲気を作りたいと熱望しています。

又、社内規定最高速度を、運行記録紙による管理のもと、この速度を厳守し、安全走行を達成した優秀者も表彰の対象になります。

地球環境を守る上で、省エネ走行は我々の使命です。決して会社の経費削減の為だけに行うものではありません。



社長 竹原正和

朝晩の犬の散歩が半袖、半ズボンでは、『あの人ちょっと変わってるなあ・・・』と思われるような季節となりましたが、皆様お元気でしょうか？

ジジイは、昨年の9月のハート通信に『タバコをやめました』と報告してから、ちょうど一年が経ち徐々に体に変化が出てきました。それはご飯(食事)が大変美味しく感じるようになり、これまでの倍近くご飯を食べるようになり、それに伴って徐々に体重が増えてきて、昨年と比べると5キロ程太ってしまいました。その結果、負の連鎖が始まりました。

体重が増える→体の切れがなくなる→体を動かすのが億劫になる→膝に水が溜まる→夜中に足がつる→睡眠不足→朝食を抜く→昼に一気にたくさん食べる→夜、飲んでたくさん食べる→体重が増える・・・何が言いたいかというと、タバコをやめると膝に水が溜まる危険性がありますが、ご飯は美味しくなるということです(笑) というわけで、禁煙初めの頃は、たまに吸いたい時もありましたが、今ではそれもなく膝の痛みと戦いながらも、健康に過ごしております。今後、禁煙される方がおられましたら湿布だけは用意しておいた方がいいですね！



大橋 哲夫



## 《当社の小集団活動》

今回、運営をドライバーに委ね「よりよい環境作りと安全と人材の育成」の改善作りの場を作ろうと安全衛生委員会小集団活動を4月からスタートしました。安全衛生委員の中から4~5名の委員を選出し環境、安全、教育と3委員会では会社の部門長クラスが中に入り共に推進しております。

会議では、小集団活動が出来やすい4~5名で班を取組んでおり、各班で取組む議題を話し合っております。小人数で取組むことにより小集団活動ならではのメリットを出すことが出来るからです。

各班に毎日の情報の伝達、事故、違反、お客様からのクレーム、社内の美化、新人社員の初任教育計画の立案、各キャンペーンの立案等など報告し合っています。何かあれば早い段階で会合し合い、役員に状況の報告を行います。決裁を求めなければならないもの、今後の対策等も報告して、その活動状況を安全衛生委員会の席上で報告をしてもらって、全員が情報を共有化するようにも努めています。

小委員会の主催で8月度の行事は、社内納涼バーベキュー大会を催し、役員の全員出席のもとで社員の連帯感を深めることが出来、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

9月度は、『環境に優しく安全走行をしよう』と社内でのコスト削減にもつながる『Co2の削減』『安全走行』を大きな目的として「社内の省エネコンテスト」をスタートさせ、全社員が張り切って挑戦しています。

まだスタートしたばかりでよちよち歩きの勉強不足ではありますが、足りないところは全員で模索しながら、全社一丸となって取組んで行きたいと頑張っております。



橋本 勝

燃費の向上を図るには、空気圧が低いとタイヤの接地面積が増え、摩擦抵抗も増えるので燃費の悪化に繋がります。タイヤの摩耗、片べり、タイヤの寿命も縮まり、空気圧が低いと走りが重くなります。また、ステアリングが重くなり、走行に悪い結果をもたらします。

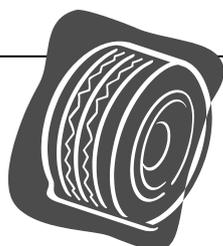
タイヤは、構造上微量ながら空気が抜ける場合もあるので、指定の空気圧に対して少し高めにして下さい。タイヤ空気圧は、燃費のガキを握るので1ヶ月に1回は調整を行って下さい。

(自社では、10日に1回の強化美化項目としてタイヤ空気圧のチェックを行っています。)

また、エアコンを使えば燃費は悪化するからと、エアコンを使わずに窓を開けて運転する人もいます。しかし、窓を開けて走るのは、空気抵抗を増大させてしまい、意外な程燃費に与える影響が大きくなる場合もあるのでご注意下さい。

まだ暑い日が続きますが、快適な室内環境を保ち、精神的、肉体的にリラックス出来、燃費を悪化させない走りをして、燃費の向上に努めて行きましょう。

吉川 文雄



## 《荷主企業専属部門》

過去にハート通信で当社の部門の紹介をして参りましたが、まだ一部門の紹介が抜けておりました。部門の乗務員が、自分の部門の紹介は当社のお客様に紹介してもらえないのですかとのお苦情がありました。自分の部門がいつ紹介してもらえるのかじつ〜と我慢して待っていたとのことでした。言われた私はびっくりしました。若い乗務員達は、自分の部門の業務に対してしっかりとプライドを持ち、懸命に業務を遂行しているからこそ出る言葉だと私自身大変恥ずかしい思いを致しました。

今回は、荷主企業専属部門の今日まで当社の乗務員が乗務経験で培ってきた確かな輸送スキルと荷主企業様からの信頼の厚い厨房品の輸送の現場をご紹介します。

《荷主企業専属輸送部門＝（クリナップ厨房製品、キヤノンコピー事務機、フランスベット、クレラップ）の県内一円の配送業務》

厨房製品というものは、お客様にとって特別な意味を持つものであると思います。購入時期は、新築時又はリホームの時（一生に一度か二度）新しい節目のスタート、晴れの門出に当るわけですから納品のミスは許されないのです。真新しい厨房器具を迎える時は、奥様だけでなく、誰でもがワクワクするものです。何かフレッシュな気持ちになるものです。一般の家庭に納品する場合などは、お客様の満足度を高め喜びを創造するものです。私達の最大なる使命はお客様満足度の向上のなにもありません。

当社は、厨房製品の輸送では豊富なキャリアを持つスタッフが毎朝5時から1日分の輸送に必要な車両台数を算出し、さらに用意した各車両の積載容量に対して車両を各方面に荷物の配分を的確に行い、膨大な出荷量を巧みに積み込んで行きます。積荷は、ケース物の決まった形状であればよいのですが、特殊な形状のものばかりです。風呂おけ、キッチンと無理に積み込むと商品事故につながります。積込順番や養生の方法など豊富なキャリアがなければ積載の効率もUP出来ません。

私達の最大の敵は、商品への擦り傷や打ち傷です。荷積の仕方や養生の不備による荷崩れ、商品同士との接触などお客様の元へお届けするまで気を緩めることが出来ません。

万一商品事故が発生した場合は、問題点と対策方法を乗務員と全員で帰社後「原因はなにか」「どうすれば防ぐことが出来るか」検証することに努め、商品事故の根絶に努めています。

私達は、現場の人達や一般家庭のお客様に予定通り完全な状態で納品出来ず、お客様に残念な思いをさせることは絶対避けなければなりませんし許されません。

輸送現場でのチームワーク、結束力の強化でお客様の満足度を向上させていかなければならないのです。単なる商品をお届けするのではなく『メーカーの商品の価値』をお届けするのが私達の仕事であるという気持ちを持って毎日の業務に励んでいる部門であります。

お客様の大切な荷物を同じ考え方で経験豊富なスタッフが担当している引越部門があります。引越のシーズンに入ります。是非大切な家具類の輸送は、当社のスタッフにおまかせ下さい。

斎藤 洋一



初秋の頃となりました。朝晩の過ごし易さは夏の熱帯夜を忘れてしまうくらいです。皆様におかれましては体調を崩されませんようご自愛くださいませ。

秋は短い季節ではございますが、食、運動、文化と様々な楽しみ事がたくさんありますね。私、今年には特に運動（スポーツ）に力を入れたいと考えております。皆様、不思議に思うかもしれませんが私は何故か夏太りをする体質でして今年も期待通り成長しております。おいしい食を横目に運動に励みたいと思います・・・。運動と言っても今はゴルフくらいしかしておりませんので、そのゴルフを通して運動量を増やすのです。練習場は基本的に行きませんし、コースに行ってもカートに乗りっぱなしですが、仕事帰りに練習場に寄って練習する。コースでは歩く。・・・やってみます・・・。

先日、福井でプロ野球の公式戦があり観戦しました。一流の選手たちを目で追うと幼い頃に憧れたプロ野球選手が一流のプレーで福井の野球ファンを沸かせております。一球一球に集中している姿は真のプロ魂と感じました。ファンの声援に脱帽して応える選手たち、審判団や対戦チームの監督、コーチ陣に一礼する姿は私の期待を裏切らない素晴らしい光景でした。やっぱりスポーツっていいな。カッコいいな。と思ったのです。

私は小学4年生の時に野球チームに入団して野球を習いました。それはそれは厳しい監督で野球の練習は凄まじいものでした。逃げ出したいこともありましたが、それ以上に野球が好きで仲間との楽しい時間を過ごしました。甲子園出場の経験者である監督には野球は勿論ですが色んなことを教えていただきました。今でも忘れられない教えがあります。

「忘れ物をするな」忘れると他人様に迷惑をかける。「使用前より綺麗にして帰れ」ベンチやグラウンドは自分たちが来たときよりも綺麗にしてから帰れ。次に使う人が普通に使える。この2つはいつも言われ教えていただきました。今の仕事や生活に大変役に立っております。スポーツっていいですね。ただ・・・年を重ねる毎にできることとできないことが自然に成り立っていることをお忘れなく。適度な運動で秋を満喫しましょう。



池上 則和

いつもお世話になりありがとうございます。

今年も夏が終わってしまいました。毎年一回は海水浴に行っていたのですが、一度も行く事無くお盆が過ぎ、子供の夏休みが終わり、地元では収穫祭の準備をしています。

子供が成長するに連れて、私とのコミュニケーションが減っていく中、後悔しても取り戻せないのも、何とか遊んでもらえるように作戦を練っています。

涼しくなると体を動かしやすくなるので、夏バテや風邪なんかに貴重な時間を取られないように気をつけたいと思います。

朝夕と日中の体感温度差に対応するべく体調管理の方法も秋バージョンにシフトしようと考えていたら、喉に違和感がある事に気が付きました。

偶然気が付いたので偉そうに言えませんが、早めに大事をとって仕事や遊びを精一杯やったと胸を張りたいものです。

辻川 伸吾

夏も終わり季節は秋になりましたが、まだまだ暑さが残る日々が続いています。以前より、朝と夜は涼しくなり、日中との気温差が大きく、なかなか体調管理が難しい時期です。皆さまも体調だけは気をつけて下さい。

さて、先日の事です。剣道を習っているうちの息子が初めて試合に出ることになり、見に行ってきました。試合を見るのは初めてで楽しみにしていましたが、残念ながら初戦敗退で、幾度となく面が決まっていたのですが、声が出ていなかった為審判の旗が上がらず無効になってしまいました。油断せず声さえ出していれば勝てた試合だったのに、本当に惜しい試合でした。本人もそれが分かったのか、試合が終わってから泣き出していたので本当に悔しかったのだと思います。またこの経験を生かして、次回試合には頑張ってもらいたいです。



植田 泰樹

暑い日が続きますが、体調管理の方は大丈夫ですか？

さて、前回に引き続き4つのルール、その①は「頼まれた事は、ためされ事」でした。その②は「0.2秒のYesという素直な返事」です。

人は、誰でも頼まれたりすると損得感情で物事を考えてしまうものです。「面倒くさい」「自分にとって得ではない」「相手が得するだけ」などいろいろ考えると思います。だから返事が遅れてしまう……。0.2秒という時間。この時間で物事を考えるという事は不可能！ですが、例え損だろうが、あなたのためなら何でもしますよという意味です。

損と分かっているYesと引き受けてくれる人が目の前にいたら、ものすごくうれしくないですか？あなたのためなら人肌ぬぎますよって人がいたらうれしくないです？出来るか出来ないかじゃなく、やるかやらないか！やって駄目ならどうすれば出来るか考えればいいだけです。そうやって人は成長していくのだと思います。

谷口 学

いつもありがとうございます。9月中旬になりましたが、まだまだ残暑厳しく、福井ではこの数日間毎日30℃を超え、中間点呼の際には「今日も暑いですね。」が口癖になっています。皆さまのお手元にハート通信が届く頃には涼しくなっていることを願っております。

さて、前回書きましたように、マイクロバスに乗りインターハイの応援で秋田県に10時間かけて行って来ました。決勝トーナメントでは九州勢（優勝候補）に当り、旅館から負けた時のために帰る準備をして応援に向かいました。応援団の数では負けていましたが、父兄（特に母親達の声）の応援はヒートアップし、勝った時には子供達は勿論、父兄まで涙を流して喜びました。全国でベスト16になり、思ってもいなかった好成績に夕食の宴では旅館から勝利のビール<sup>※</sup>の差し入れがあり、再度盛り上がりました。（生ビール美味しかったです）秋田県までの往復は大変でしたが、我が家にとっては最高の夏でした……。

吉川 佳代

次回お楽しみに……

